

ー作業員等の触車事故を防止するためにー

公開：令和7年6月24日（本日）

URL：
<https://jtsb.mlit.go.jp/guide/shokusha.html>



HP のイメージ



運輸安全委員会トップページ > 安全へのツール > 作業員等の触車事故を防止するために



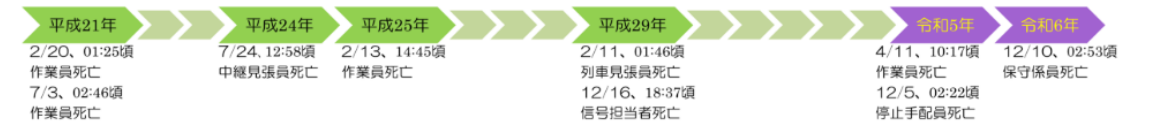
作業員等の触車事故を防止するために

線路内で作業を行っていた作業員や列車見張員が列車と接触し、亡くなるという鉄道人身障害事故（以下「触車事故」という。）が、令和5年4月、12月、令和6年12月と続けて発生しています。

運輸安全委員会発足以降、触車事故は9件発生しており、いずれも作業員等が亡くなっています。

過去の触車事故では、作業工程変更後に再打合せしない、左右の指差確認をせずに線路へ立ち入るなど、**触車事故防止のための遵守事項**や社内規程が守られていない、又は**触車事故防止教育が徹底されていない**ことが原因となっています。

●運輸安全委員会発足（平成20年10月）以降の触車事故発生状況



令和5年4月の触車事故※は、**見張り業務に専念する列車見張員を配置していなかったために作業員へ列車接近合図が行われず、作業員が列車の接近に気付かず**に作業を継続していたことにより発生したものと推定されていますが、類似の事故は平成29年12月にも発生していました。このような事故が二度と繰り返されないことがないよう、触車事故防止のポイントをまとめましたので、今一度ご確認ください。

※ 鉄道事故調査報告書 URL：<https://jtsb.mlit.go.jp/railway/rep-acc/RA2025-2-2.pdf>

目次
○触車事故を防止するためには、次のことを守ることが大切です
○こんな触車事故が発生しました！
○参考資料